

園芸ADTECセンター整備事業基本設計業務委託

1 基本設計の標準業務

- ・新築する園芸ADTECセンターおよび附属建築物の設計
- ・上記工事に伴う外構、付帯工事の設計
- ・上記建築工事に付随する設備工事一式の設計

2 設計と条件（その他条件）

（1）整備方針※¹について

- ・建物、露地ほ場・ハウス用地間の移動や作業の効率性、安全性に配慮し、研究開発を効率的かつ快適に実施するため、必要な施設機能について検討すること。

※1 「園芸ADTECセンター基本構想」P. 11 参照

（2）必要な施設機能※²について

- ・研究機関としての基本的な機能に加え、農業者や民間企業などとの連携を強化するための機能を付加する必要がある本施設の特性を考慮した、セキュリティ（防犯、薬品管理）、災害対策（BCPへの対応）を検討すること。
- ・CLTの使用等、施設の木造化・木質化について、施設に必要な耐薬品性、耐久性等を考慮した上で、積極的に検討すること。
- ・カーボンニュートラルの実現に向け、大幅な省エネ対策を講じた上で、再生可能エネルギーや蓄電設備の導入について検討すること。
- ・水資源の有効かつ適切な利用に資することを目的に、雨水及び排水処理水等による水の再利用施設の設置を検討すること。
- ・実験排水や排気の処理については、適切な処理を行い、周辺環境に配慮すること。
- ・建物の配置にあたっては、周辺農地の日照への影響に配慮すること。

※2 「園芸ADTECセンター基本構想」P. 12～15 参照

3 基本設計における主な検討事項

「園芸ADTECセンター基本構想」に基づいて検討を行うこと。

（1）基本方針

設計方針、仕様概要表（敷地の法規制、インフラ状況、計画規模条件、建物概要）など

（2）建築計画

敷地周辺環境、配置計画、平面計画（諸室レイアウト図含む）、立面計画、断面計画、内観デザイン計画、植栽計画、外構計画、駐車場計画、動線計画、防災計画、ユニバーサルデザイン計画、省エネルギー計画、セキュリティ計画、サイン計画、各種法規リスト など

（3）基本設計図

仕様概要表、仕上表、面積表、求積図、配置図、平面図、立面図、断面図、各主要

部詳細図、外構図、植栽図、排水計画図、日影図、法規チェック図 など

(4) 構造計画

構造概要、設計方針、構造材料、荷重及び外力、基礎形状、基礎形式の比較検討、
構造図 など

(5) 電気設備計画

受変電設備計画、電灯・動力幹線設備計画、動力設備計画、電灯設備計画、構内交換機設備計画、構内情報通信網設備計画、拡声設備、テレビ共同視聴設備計画、電気時計設備計画、インターホン・トイレ呼出設備計画、自動火災報知設備計画、防火防排煙制御設備計画、防犯設備計画、構内配電線路設備計画、構内通信線路計画、テレビ電波受信障害防除設備計画 など

(6) 機械設備計画

衛生器具設備計画、給水設備計画、排水設備計画、給湯設備計画、消火設備計画、ガス設備計画、空気調和設備計画、換気設備計画、排煙設備計画、自動制御計画、
など

(7) 工事概算・工程表

- ・工事概算表、工事工程表の作成を適宜行うこと。

- 特に研究棟の構造種別によるコスト比較（ランニングコスト含む）を行うこと。

- ・設計の進捗に合わせた段階的なコスト縮減の検討によりコスト管理を行うこと。

- また、ライフサイクルの観点からもコスト縮減を検証すること。

- ・コスト縮減や資材調達事情を考慮し、適切に工期を設定すること。

※上記の項目ごとに、決定に至るまでに比較・検討した各種資料、各種打合せ議事録などを資料編としてまとめること。

4 概算工事費

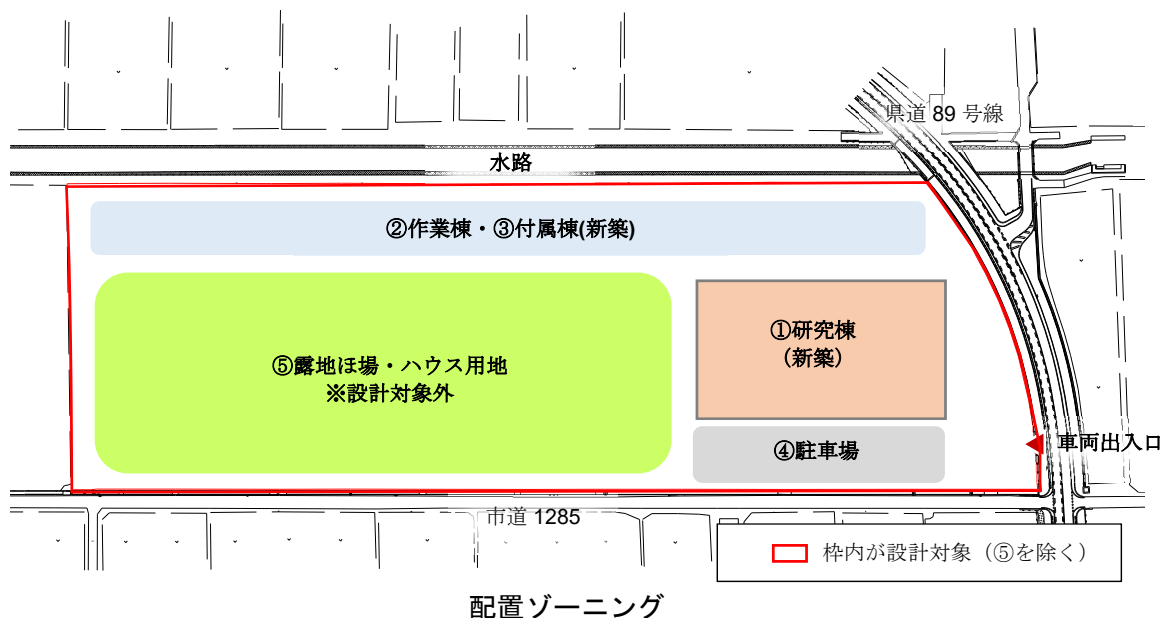
約40億円（消費税抜）

※新築する建物および設備、外構工事の概算額であり、用地造成及び露地ほ場・ハウス関係の整備に係る工事は含まない。

5 配置ゾーニング

建物（研究棟、作業棟、付属棟）の配置は下図を基本とする。

研究棟は車両出入口となる東側に配置し、露地ほ場・ハウス用地は、日当たりがよい南側に配置するとともに、作業棟・付属棟は露地ほ場やハウスへの日影を考慮した北側配置とする。



6 施設面積

必要諸室および面積は下表による。

①研究棟

施設		目安面積 (㎡)	備考
執務エリア	執務室	240	
会議エリア	研修室	200	
	会議室	30	
	農家相談室	30	
実験エリア	実験室（野菜分野）	200	
	実験室（花き分野）	200	
	実験室（流通分野）	250	
	機器分析室	60	
	貯蔵室	120	
情報発信・交流エリア	情報交流スペース	120	
	連携企業実験室（3部屋）	各50	
	技術展示室	160	
その他	休憩室、更衣室、シャワー室、トイレ、倉庫、機械室、廊下等	1,140	
合計		2,900	

②作業棟

施設	目安面積 (㎡)	備考
調査室（野菜分野）	340	
調査室（花き分野）	260	
冷蔵庫室	80	
作業員準備室、休憩室、オペレーション室	200	
堆肥保管庫	180	
燃料・農薬保管庫	30	
資材・用土保管庫	380	
農業機械保管庫	240	
連携企業作業室、連携企業機械庫	140	
生産物残渣保管庫	100	
合計	1,950	

③付属棟

施設	目安面積 (㎡)	備考
公用車庫	120	

④駐車場

施設	目安面積 (㎡)	備考
駐車場	1,000	

7 業務スケジュール

基本設計以降のスケジュールは想定であり、今後変更の可能性がある。

- ・実施設計：令和8年9月～令和9年6月（約10か月）
- ・発注事務：令和9年7月～令和10年2月（約8か月）
- ・工事：令和10年3月～令和11年3月（約13か月） ※週休2日

8 業務実施にあたっての留意事項

- ・地質調査は、別途委託する。発注者から提供された地質調査の結果を使用して、基礎の検討を実施すること。
- ・用地造成及び露地ほ場・ハウス関係の整備に係る設計は、別途委託する。別途委託の履行者と連携しつつ、敷地全体の施設・設備計画等を検討すること。
- ・建物及び外構の各仕様（外観・内観）の検討にあたっては、適宜、検討パース（鳥瞰、外観、内観）を作成し、各関係者とイメージの共有を図ること。
- ・検査室等に設置する具体的な機器については別途検討中のため、検討結果を踏まえ、各諸室の仕様等について計画すること。
- ・全ての計画において各種法令・基準等に適合するものとし、関係部署と事前協議等を

行うこと。

- ・周辺の田園風景との調和を目指し、敷地内緑化など景観に配慮した計画とすること。
※「矢部川流域景観計画」の区域内であり、同計画の基準に適合すること。
- ・業務スケジュールの「プロセスの見える化」により、打合せ計画を策定し、関係者との進捗共有を図りながら、スケジュール管理を徹底すること。
- ・本業務の遂行にあたっては、各関係者（設計担当者および、福岡県農林業総合試験場等）を交えた会議を定期的に行い、基本構想の主旨の確認、要望事項等の整理・取りまとめを行い、設計内容に反映させること。
- ・各関係者、関係部署等とのやり取りは、すみやかに議事録（様式は任意）を作成し、設計担当者に送付すること。

9 その他

- ・基本設計報告書とは別に基本設計報告書の概要版（A 3 版 1 ～ 3 枚程度）を作成すること。
- ・住民等説明会における資料の作成に協力すること。